



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤川 祐樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡村 淳弘

TEL 086-246-0309

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	49,516	3.7	2,488	42.7	2,639	40.8	1,920	97.9
2024年3月期第3四半期	47,752	12.5	1,743		1,874	60.2	970	45.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,935百万円 (98.3%) 2024年3月期第3四半期 976百万円 (45.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	94.38	77.69
2024年3月期第3四半期	47.51	39.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	67,393	29,966	44.4
2024年3月期	49,016	30,149	61.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 29,949百万円 2024年3月期 30,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		25.00		25.00	50.00
2025年3月期		26.00			
2025年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	9.2	3,000	14.5	3,000	9.0	2,100	116.6	102.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社ゴリップ、株式会社
牛かつもと村 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	22,777,370 株	2024年3月期	22,777,370 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	2,806,170 株	2024年3月期	2,346,200 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	20,343,585 株	2024年3月期3Q	20,423,204 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報 「参考資料」	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12
(3) 種類別販売実績	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げによる所得環境の改善ならびに好調なインバウンド需要を背景に一部に足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の政策動向、ロシア・ウクライナ危機の長期化や中東情勢の悪化などによる地政学リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高騰、円安の影響が続くなど、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、経済活動の正常化による人流の回復が進む一方、原材料費の高騰、慢性的な人材面での供給不足による一層の賃上げ実施ならびに採用活動費の増加に加え、物価高騰による節約志向の高まりにより、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、2021年5月に公表した中期経営計画を2024年5月に更新し、新中期経営計画における基本方針に掲げた各施策について取り組んでまいりました。鎌倉パスタ業態におきましては、当第3四半期累計期間に5店舗を出店し、今後も派生業態も含めた好立地への出店を計画しております。サンマルクカフェ業態におきましては、小規模改装の実施やセルフレジの導入など、客数の回復、オペレーションの効率化に向け取り組んでおります。また、2027年3月期以降の成長の軸となる第3のブランド確立に向けM&Aにより新業態の獲得を目指していたところ、2024年11月、12月と立て続けにインバウンド観光客の取り込みや海外展開に強みを持つ牛カツ京都勝牛、牛かつもと村の牛カツ二大ブランドを獲得し、グループとしての成長の足固めに取り組んでまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中に生麺専門鎌倉パスタ直営店5店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営店2店舗、神戸元町ドリア直営店2店舗、FAMITERIA.8直営店1店舗、サンマルクカフェ直営店2店舗をそれぞれ出店（当第3四半期連結累計期間出店数：直営店12店舗）しました。加えて、ジーホールディングス株式会社ならびに株式会社B級グルメ研究所ホールディングス及びBQ International株式会社の子会社化に伴い両ブランド合わせて直営店117店舗、フランチャイズ店舗35店舗を取得しました。これにより当社グループ全業態の当第3四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店829店舗、フランチャイズ店58店舗、合計887店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高495億16百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益26億39百万円（前年同期比40.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億20百万円（前年同期比97.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は295億22百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は25億30百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

喫茶事業売上高は199億93百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は17億15百万円（前年同期比64.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は673億93百万円となり、前連結会計年度末と比較して183億76百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は190億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して35億92百万円の減少となりました。これは、M&Aの実施等により、現金及び預金が48億円減少した一方、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったことにより、売掛金が8億64百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は483億23百万円となり、前連結会計年度末と比較して219億68百万円の増加となりました。これはM&Aの実施に伴うのれんの計上等により無形固定資産が202億24百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は252億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して173億57百万円の増加となりました。これはM&Aの実施に伴う借入れの実施により短期借入金が160億円増加したこと等によるものであります。

固定負債は121億79百万円となり前連結会計年度末と比較して12億円の増加となりました。これはM&Aを実施した会社が有する長期借入金を5億60百万円計上したことによる増加等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して1億82百万円減少して299億66百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月4日付で開示いたしました「ジーホールディングス株式会社の株式の取得」ならびに2024年11月19日付で開示いたしました「株式会社B級グルメ研究所ホールディングス及びBQ International株式会社の株式の取得」のとおり、上記会社の株式を取得し、連結子会社化したことに伴い、2025年1月から3月までに予想される売上を加えた結果、通期の連結売上高が70,500百万円となる見込みとなりましたので業績予想を修正いたします。なお、損益面につきましては、連結子会社化により発生するのれん及び無形資産の償却期間、償却費の試算額について監査法人と協議中であり確定していないため、2024年5月13日に公表しました業績予想を据え置きといたします。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 64,000	百万円 3,000	百万円 3,000	百万円 2,100	円 銭 102.78
今回修正予想(B)	70,500	3,000	3,000	2,100	102.78
増減額(B-A)	6,500	0	0	0	—
増減率(%)	10.2	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	64,556	2,620	2,753	969	47.47

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,663,120	11,862,217
売掛金	5,430,418	6,295,177
原材料及び貯蔵品	349,138	467,374
その他	893,803	820,937
貸倒引当金	△674,146	△376,064
流動資産合計	22,662,333	19,069,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,697,410	11,871,276
土地	3,648,228	3,648,228
その他(純額)	926,263	1,238,472
有形固定資産合計	15,271,902	16,757,977
無形固定資産		
のれん	—	20,230,635
その他	92,736	86,345
無形固定資産合計	92,736	20,316,981
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,687,208	8,012,213
その他	3,302,818	3,237,391
貸倒引当金	—	△1,070
投資その他の資産合計	10,990,026	11,248,534
固定資産合計	26,354,665	48,323,493
資産合計	49,016,999	67,393,136
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,509	3,246,987
短期借入金	—	16,000,000
1年内返済予定の長期借入金	—	6,630
未払金	3,492,384	3,447,234
未払法人税等	685,407	676,731
引当金	93,673	10,436
資産除去債務	35,096	129,647
未払消費税等	783,787	691,180
その他	377,055	1,037,909
流動負債合計	7,888,914	25,246,756
固定負債		
社債	6,024,651	6,016,101
長期借入金	—	560,190
退職給付に係る負債	444,641	702,197
資産除去債務	4,413,571	4,766,910
その他	96,083	134,420
固定負債合計	10,978,948	12,179,819
負債合計	18,867,862	37,426,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,040,489
利益剰余金	30,289,389	31,167,039
自己株式	△4,951,960	△6,029,326
株主資本合計	30,107,406	29,909,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,925	40,374
その他の包括利益累計額合計	24,925	40,374
新株予約権	16,805	16,805
純資産合計	30,149,136	29,966,560
負債純資産合計	49,016,999	67,393,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	47,752,754	49,516,026
売上原価	11,579,565	11,952,161
売上総利益	36,173,188	37,563,865
販売費及び一般管理費	34,429,989	35,075,820
営業利益	1,743,199	2,488,045
営業外収益		
受取利息	2,065	1,461
受取配当金	2,221	4,133
受取賃貸料	163,646	142,874
受取補償金	82,379	126,618
その他	67,740	55,647
営業外収益合計	318,053	330,736
営業外費用		
支払利息	—	6,415
支払賃借料	142,526	126,891
その他	43,762	45,748
営業外費用合計	186,289	179,055
経常利益	1,874,963	2,639,725
特別利益		
固定資産売却益	6,000	921
受取保険金	25,329	—
特別利益合計	31,329	921
特別損失		
固定資産除却損	72,150	121,090
減損損失	287,092	171,508
災害による損失	8,854	—
貸倒引当金繰入額	59,000	15,000
投資有価証券売却損	—	3,931
退職給付費用	—	※1 247,465
債権放棄損	—	※2 44,000
特別損失合計	427,097	602,996
税金等調整前四半期純利益	1,479,195	2,037,650
法人税、住民税及び事業税	516,173	587,586
法人税等調整額	△7,325	△470,034
法人税等合計	508,847	117,551
四半期純利益	970,348	1,920,099
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	970,348	1,920,099

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	970,348	1,920,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,754	15,449
その他の包括利益合計	5,754	15,449
四半期包括利益	976,103	1,935,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	976,103	1,935,548
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1. 退職給付費用の内容

退職給付費用の算定方法を簡便法から原則法へ変更したことによるものであります。

※2. 債権放棄損の内容

非連結子会社であった株式会社サンマルクイノベーションズに対する債権放棄によるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,636,264千円	1,516,426千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	27,466,544	19,334,554	46,801,099	—	46,801,099
ロイヤリティ収入	59,481	31,748	91,229	—	91,229
FC関連等売上	529,448	330,976	860,425	—	860,425
外部顧客への売上高	28,055,474	19,697,280	47,752,754	—	47,752,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,055,474	19,697,280	47,752,754	—	47,752,754
セグメント利益	1,891,841	1,045,729	2,937,571	△1,194,371	1,743,199

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,194,371千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで88,113千円、「喫茶」セグメントで198,979千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	28,966,899	19,622,818	48,589,717	—	48,589,717
ロイヤリティ収入	60,666	34,863	95,529	—	95,529
FC関連等売上	495,342	335,437	830,779	—	830,779
外部顧客への売上高	29,522,907	19,993,119	49,516,026	—	49,516,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,522,907	19,993,119	49,516,026	—	49,516,026
セグメント利益	2,530,363	1,715,410	4,245,774	△1,757,728	2,488,045

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,757,728千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、ジーホールディングス株式会社及び株式会社B級グルメ研究所ホールディングスならびにBQ International株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は、「レストラン」セグメントにおいて25,351,360千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで122,827千円、「喫茶」セグメントで48,681千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「レストラン」セグメントにおいて、ジーホールディングス株式会社及び株式会社B級グルメ研究所ホールディングスならびにBQ International株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことにより、のれんが20,230,635千円増加しております。なお、当第3四半期連結会計期間末においてのれんは取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(新株予約権ならびに無担保転換社債型新株予約権付社債の行使)

当社は、2021年6月7日付で発行いたしました第8回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債について2025年2月13日付で以下の通り権利行使されました。

第8回新株予約権

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 行使された新株予約権の個数 | 5,716個 |
| (2) 交付株式数 | 普通株式 571,600株 |

本新株予約権の行使にあたり交付する当社株式については、当社が保有する自己株式を充当いたします。

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 行使された新株予約権の個数 | 49個 |
| (2) 交付株式数 | 普通株式 4,163,700株 |
| (3) 資本金増加額 | 3,007,539千円 |
| (4) 資本準備金増加額 | 3,007,539千円 |

(自己株式の取得)

当社は、2025年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 4,000,000株(上限とする)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合19.56%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10,400,000,000円(上限とする) |
| (4) 取得期間 | 2025年2月14日～2025年2月28日 |
| (5) 取得の方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付 |

3. 補足情報

「参考資料」

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	7,580,192	103.7
喫茶	4,429,199	102.4
合計	12,009,391	103.2

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	29,522,907	105.2
喫茶	19,993,119	101.5
合計	49,516,026	103.7

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	28,966,899	105.5	60,666	102.0	495,342	93.6	29,522,907	105.2
喫茶	19,622,818	101.5	34,863	109.8	335,437	101.3	19,993,119	101.5
合計	48,589,717	103.8	95,529	104.7	830,779	96.6	49,516,026	103.7